

平成28年度 学年末学校関係者評価結果

☆総括 全項目平均 「3.35」 (中間3.27) (回答数3)

昨年 (3.31) より0.04上昇で向上が見られる。ほぼ十分であると判断できる。

評価基準【 4:十分である、 3:おおむね十分である、 2:やや不十分である、 1:改善を要する 】

学校関係者による学校評価につきましては、教員と同じ目線で学校を評価していただく観点で、平成27年度同様2度実施していただきました。中間評価より微増ですが0.08ポイント上昇しました。

項目別では、学校教育目標と学校経営方針、学習指導、生徒指導の面で教職員より評価が低く、逆に進路指導、健康安全指導、目指す教師像では教員より高い評価をいただいています。学習の面では本校の課題の一つである家庭学習習慣の定着と体験的な学習、学ぶ喜びの体得が足りないと感じています。これは職員も強く感じている課題であり、昨年度に引き続き、学習指導での「家庭での学習習慣の定着指導」、丹頂プランの目指す生徒像での「社会に適応する力を持つ(基礎基本の学力)」が大きな課題としてとらえられていることがはっきりしています。

※評価点の高い項目(3.2以上)は◎で示しました。＜ ＞内は中間()内は職員の値となります。

評議員に関しては、項目7. 事務部運営 項目8. 遠隔授業はのぞきました。

	平均			評価点
1 学校教育目標(一人一人を大切に、豊かな心の育成をめざす)				
① 夢と希望を持ち、意欲的に学ぶ心	◎3.3	<3.3>	(3.3)	3.2 <3.3> 職員(3.5)
② 誠実に協力し合い、人を思いやる心	3.0	<3.3>	(3.6)	
③ 心身を鍛え、健康・安全に努める心	3.0	<3.0>	(3.5)	
④ 地域文化と自然を愛する心	◎3.3	<3.3>	(3.5)	
2 学校経営方針				
① 自他の生命を尊重し、確かな学力を育む教育活動の推進	◎3.7	<3.0>	(3.5)	◎3.3 <3.4> 職員(3.7)
② 家庭や地域、関係機関等と連携を密にし、信頼される学校へ	3.0	<3.3>	(3.6)	
③ 教職員の共通理解と実践で、いじめのない安全・安心な学校へ	◎3.3	<3.3>	(3.8)	
④ 特別支援教育の理解を深め、個に応じた教育の推進	3.0	<3.7>	(3.8)	
⑤ 服務規律を遵守し、学校経営参画意識を持つ教職員集団の構築	◎3.3	<3.7>	(3.6)	
3 学習指導				
① 学び方の指導や授業規律を重視し、基礎・基本的事項の徹底を図る指導に努める	3.0	<3.0>	(3.5)	2.8 <3.1> 職員(3.4)
② 体験的な学習や個に応じた指導を重視し、学ぶ喜びを体得させる指導に努める	2.7	<3.0>	(3.6)	
③ 学習意欲を引き出す、シラバスづくりや、学習形態の工夫・改善に努める	3.0	<3.7>	(3.5)	
④ 家庭での学習習慣の定着を図る指導に努める	2.7	<2.7>	(2.9)	
4 生徒指導				
① 心のふれあいを重視した人間関係を基調とした指導に努める	◎3.3	<3.0>	(3.5)	3.2 <3.1> 職員(3.7)
② ルールの必要性を理解させ、人としての在り方生き方を考えさせる指導に努める	◎3.3	<3.3>	(3.8)	
③ 生徒、保護者との連携を密にし、指導体制の充実に努める	3.0	<3.0>	(3.6)	
④ 情報を共有し合う態勢を整え、事故などの未然防止に努める	3.0	<3.0>	(3.9)	
5 進路指導				
① 各種行事を通して望ましい勤労観・職業観の育成に努める	◎4.0	<3.7>	(3.5)	◎3.8 <3.6> 職員(3.5)
② 生徒理解に努め、個に応じた進路指導の実践に努める	◎4.0	<3.3>	(3.6)	
③ 資料整理を行い、情報提供及び必要な情報を入手できる環境づくりに努める	◎3.7	<3.7>	(3.4)	
④ 内外の各機関との連携を密にし、進路支援体制の充実に努める	◎3.7	<3.7>	(3.6)	
6 健康安全指導				
① 健康相談等を通して自ら進んで健康管理できる能力、実践力の育成に努める	◎4.0	<3.0>	(3.3)	◎3.6 <3.1> 職員(3.4)
② 関係諸機関と連携を図り、計画的・効果的な保健指導や体力づくりの実践に努める	◎3.3	<3.0>	(3.5)	
③ 全教育活動を通して、自他の生命を尊重し健康安全に係る意識を高め事故防止に努	◎3.3	<3.0>	(3.5)	
④ 清掃や奉仕活動等を通して、学習環境、地域環境を整備し美化意識の育成に努める	◎3.7	<3.3>	(3.5)	
9 丹頂プラン(の推進・実現状況)				
＜目指す学校像＞				◎3.6 <3.4> 職員(3.6)
① 学ぶ喜びのある 学校(社会に適用する力)	◎3.3	<3.0>	(3.4)	
② 仲間と成長できる 学校(コミュニケーション力)	◎3.7	<3.0>	(3.5)	
③ 安心した生活ができる 学校(落ち着いた学習環境)	◎3.3	<3.7>	(4.0)	
④ 地域から信頼される 学校(地域と共に発展)	◎4.0	<4.0>	(3.4)	
＜目指す生徒像＞				3.1 <3.1> 職員(3.1)
① 当たり前の実践ができる 生徒(挨拶やマナー)	◎3.3	<3.0>	(3.3)	
② 社会に適用する力を持つ 生徒(基礎基本の学力)	2.3	<3.0>	(2.8)	
③ 自立精神と積極性を持つ 生徒(進路実現)	3.0	<3.0>	(3.1)	
④ 地域への貢献ができる 生徒(地域の文化や自然)	◎3.7	<3.3>	(3.4)	
＜目指す教師像＞				◎3.8 <3.4> 職員(3.5)
① 生徒を愛し共に伸びる 教師(愛情)	◎4.0	<3.7>	(3.6)	
② 目標達成に向け邁進する 教師(実践)	◎3.7	<3.3>	(3.5)	
③ 保護者や地域から愛される 教師(信頼)	◎3.7	<3.3>	(3.5)	

※成果・課題・改善の方策等の意見については裏面に記載。

成果・課題・改善の方策等の意見

9 丹頂プラン（の推進・実現状況）

・丹頂プランにもあるように夢の実現に向けて取り組んでいます。大切なことですが、ただ夢を描くだけでは、夢や理想とはほど遠い現実の自分の姿を見つめることになりかねません。大切なことは、中学生や高校生のこの時期は「活動」する時期です。教師の体験談や部活動や職場実習等々を通して、ああいう人になりたい、こういう人になりたいといった夢が育ち、自分の夢を見つけることができるのではないのでしょうか！要は生徒に活動の場を与える中から、夢が育まれると思う。では活動の「場」をどう与えるかです。（教師の一言が重要になりますね）

10 その他（中間）

- ・全体の学校経営がとらえやすいように、重層構造的に学校経営構造図があればと思います。
- ・学校教育目標はいろいろな背景を分析しながら決定されたと思います。その実現に向けてそれぞれの教育の場、中でも学年・学級の中での努力が大切かと思います。そのためにも学年ごとの重点指導目標（発達段階をとらえて）が必要かと思います。（評）

（年度末）

- ・小規模だから実施できる事を、いろいろな面から行っており学校としての活動は素晴らしいと思います。阿寒本町の「4校連携」交流については阿寒の子供たちの大切な思い出になると思います。